

FMS便り

第2号

令和8年4月8日(水)

信州大学教育学部附属松本小学校

なりたいもの

1学期始業式(4月6日)
校長講話



今日からそれぞれに1つずつ学年が上がって、新しい生活がスタートしますね。みなさんご進級おめでとうございます。今日学校に来た時に、玄関で靴を入れる場所を今まで入れていたところに行っちゃった人はいませんでしたか？教室も前使っていた教室に行っちゃった人はいませんでしたか？

校長先生が昔3年生の担任をしていたころ、3学期の2月か3月ころの国語のテストの裏面に、阪田寛夫さんの「三年よ」という詩が載っていました。この詩は「いままでみたいなのちょうしては まあ、むりだな」とか「なくなよ三年」とか結構強烈だなあと思って3年生の子どもたちに読ませたような気がします。さて、4年生のみなさん、「四」と「三」とでは断然違うようですが、違う感じしますか？新しいクラスで、今日からまた覚悟を固めて、新しい先生と一緒に頑張っていってくださいね。

先ほど、3年生が1学期の決意を発表してくれました。新しい学年に上がって、それぞれにできることをもっと増やしていきたいという気持ちが伝わってきました。みなさんも自分の1学期の目標をしっかり固めてスタートを切ってほしいと思います。

さて、みなさんは今、将来何になりたいか考えていることはありますか？こんな仕事をしてみたい！とか、こういう楽しいことをやってお金を稼ぎたいとか、大人になった時のことを考えて計画を立てている人ももしかするといえるかもしれませんね。去年、保険会社さんが「大人になったらなりたいもの」という調査を全国の小学校3年生から6年生の人たちにしたのですが、どんな結果になったと思いますか？まず男子からみてみましょう。どうですか？自分と同じっていうものがあるでしょうか。続いて女子をみてみましょう。いかがですか？教師・教員という先生になりたいという人も今回はランクインしていたので、ありがたいことだなあと思いました。

校長先生が小学生の時に最初になりたいなあと思ったのは、実はタクシーの運転手さんでした。4年生の国語の教科書に「白いぼうし」というお話があって、その松井さんというタクシーの運転手さんのお仕事の様子が、とてもいいなあと思ったからだろうなあと思います。あとは、自分がラジオを聞くのが好きなので、お客さんを乗せてないときは好きなラジオを聞きながら気楽にドライブするのがいいなあと思っていました。

でも実はもう一つ、小学生の時は算数や理科が苦手で勉強ができない方だったので、あまりなりたいとは思わなかったけれども、なんとなく興味があったのが学校の先生です。そのきっかけが、灰谷健次郎さんという人が書いた「兎の眼」というちょっと厚い本でした。3年生から5年生まで担任だった先生が、なぜかこの本を勧めてくれて、クラスのみんなで読んだような気がします。



このお話はこの表紙の絵になっている1年生の子どもとその担任の先生が主に出てくるお話です。この子の担任の先生は大学を出て初めて先生になったばかりで、大変な苦勞をしていたのですが、奈良市にある西大寺というお寺にある善財童子という木で作られた仏像の眼がお気に入り、仕事に疲れるとこの善財童子の像に会いに来たというお話がありました。それで、なんで自分はタクシーの運転手にはならず先生になったのか、もう一度思い出すため、この春休みに善財童子の仏像を見に奈良の西大寺というお寺に行ってきました。



西大寺は奈良市にあるので、松本からはかなり遠かったです。名古屋を通して近鉄特急を2本乗り継いで奈良まで行ってきました。西大寺の中に入ると、善財童子の仏像がおかれている本堂があります。本堂に入って左奥の方に、獅子という動物に乗っている文殊菩薩というのがあって、文殊菩薩の左前にいるのが善財童子でした。その目は、本当にきれいで、なんとなく光って見えていました。なので、この善財童子の写真を撮っておきたいなあと思ったのですが、実はこういう仏像は写真を撮ってはいけないことになっているんです。そこで、30分間くらいずーっとこの善財童子の眼を見て自分の眼に焼き付けようと頑張ってみていました。でも次のお客さんが見に来ていたので、あきらめて帰ろうとしました。すると出口の近くに、なんと善財童子がきれいに映った写真が売られていたんです！なんと商売上手な、というか、見に来た人の心をお見通しというか、もうこうなったら買うしかありません。思い切って受付の方をお願いして写真を買ってもらいました。こちらが、1枚1000円で購入した善財童子の写真です。今から700年から800年前の鎌倉時代に木を彫刻刀で彫って作られた像です。本当に目が光っていて、皆さんと同じように何の曇りもない美しい目をしています。この善財童子を見て、皆さんのように一生懸命勉強したいと思っている美しいキラキラ輝く目を曇らせることがないように、頑張ろうとしている皆さんを一生懸命応援していきたいと思ったのが先生になろうとしたきっかけの一つだったことを思い出しました。白いぼうしのお話に出てきたタクシーの運転手の松井さんも、いつも乗せたお客さんを喜ばせてあげようとしていたからそういうことのできる仕事をしたいと子供の時から思っていたんだらうなあと思います。もし皆さんの中で将来先生になってみたいなあと思っていてくれる人がいたら、今からでもいいですし、中学生くらいになってからでもいいので一度「兎の眼」という本を読んでみてください。

この後の入学式で東組と西組合わせて70人の新1年生を迎え、いよいよ令和8年度の附属松本小学校を全員でスタートしていきます！今日から学校が始まりましたが、きっとみなさん新しい学年になって心気一転、やる気まんまんのことと思います！また今年度もさらに、もっともっと、こんな風にするともっと楽しくなるかな、ここをこう変えようとかうまくいくかな、友達と一緒に考えればもっといいアイデアが見つかりそうかなと、とことん自分で考えたことをやってみて挑戦してください。そうすることで、ますます「活気ある子ども 集中する子ども 仲の良い子ども」になっていてください！先生たちも全力で皆さんのチャレンジを応援します！みんなが頑張っていきましょう！

